



進路指導部主任より

1, 2 年生は来年度のコース選択も決まり、いよいよ自分の進路がより明確化されてくる時期となりました。3 年生は現在、すでに合格を手に行っている生徒、結果待ちの生徒の合計が 85%程度となっています。2 年大学模擬講義の右の講座名を見ると、なんと魅力的なタイトルが多いこと、それだけ、大学側も自分の学部学科の魅力を高校生に伝えようと、真剣にこのプログラムに取り組んでいただけています。2 年生は《12 月までに第一志望を固める》、1 年生は《未来の自分のキャリア選択をする》ことで自分の進路をアクティブに切り拓いていきましょう。



大学模擬講義で大学の授業体験！

10月26日（水）に2年生の大学模擬講義が実施されました。日本大学から7学部、他大学から5大学の計12講座が開講されました。具体的な講座内容は右の一覧表のとおりです。生徒は1人2講座を受講し、実際の大学の授業がどのようなものかを体験することにより、大学への進路決定をする際の参考となったと思います。

今年度はコロナ禍後、初の対面形式で開催することができました。生徒たちは、大学で行われている実際の授業を受講することによって、進学先のイメージを具体的に描くことができました。普段の鶴ヶ丘での授業とは異なり、より専門的な分野はどれも魅力的であり、生徒たちは興味津々に講座を受講し、熱心に聴き入り、「進路ノート」に要点をまとめていました。

「進路ノート」の感想には、「講座を受講して、大学生活がより明確にイメージすることができました。第一志望の合格へ向けて、学習意欲を高めるいいきっかけになりました。」といったものもありました。生徒たちには良い刺激となり、いっそう入試に向けて自主的に学習が進められることを願います。



大学・学部	テーマ・授業内容
日本大学 法学部	「成年年齢引き下げから学ぶ民法の基礎」
日本大学 文理学部	「ヨーロッパのリーダー国であるドイツに触れてみよう」
日本大学 経済学部	「なぜ少子化の地域格差が進むのか」
日本大学 理工学部	「使用済核燃料の処理と土木工学の関わり」
日本大学 芸術学部	「音声で伝える学生街の魅力『江古田の音みやげMAP』」
日本大学 生物資源科学部	「高校生物学のその先に～動物繁殖学の最前線～」
日本大学 商学部	「マーケティングって何だろう 消費者の頭の中をのぞく」
成蹊大学 理工学部	「光と情報処理」
東京女子大学 現代教養学部	「ルフィは本当に海賊王になれるのか！？—ONE PEACE から見る「国際法」」
玉川大学 教育学部	「楽しく運動できるようにするための方法と技術」
東京薬科大学 薬学部	「ホルモンバランスと『くすり』」
女子栄養大学 栄養学部	「女子栄養大学のバランスのよい食事法」



進路説明会を通して、3年生0学期への準備！

11月9日（水）に2年生はオンライン形式で進路指導説明会を実施しました。2年生3学期は「3年生0学期」ともいわれる時期です。大学受験で第一志望を叶える為に重要な時期となります。2年生のこのタイミングで第一志望をかなえるための道筋を理解するとともに、これから何をすべきかを学んでほしいと思います。

近年、大学入試が複雑化しているため、生徒たちは一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜の方式と時期を正しく理解しなければいけません。この説明会を通して、2年生は付属特別選抜・基礎学力選抜だけでなく、様々な大学入試の方式への理解を深めてくれたと思います。

オンラインでの実施とはなりましたが、各クラスで真剣に説明会を聞く姿勢が見られました。説明を聞いた生徒からは「受験まで、あまり時間がないことを感じました。帰りに本屋によって問題集を見てこようと思います。」「授業に対する考え方が変わりました。もっと集中して授業を大切にすべきだと実感しました。」と声を聞くことができました。生徒たちには「3年生0学期」に向けて、良い準備ができればと感じています。

3 第一志望をかなえるために



20 大願成就のためには行動をあらためましょう！



① 基礎学力・生活習慣の構築

→**授業を大切に。教科書を読む力**を身につける。
生活態度や出欠状況は推薦に必要な行動の記録。

② 明確な志望動機

→志望理由書は「**自分の思いを自分の言葉**」で！
面接対策にもなる！

③ 第一志望を貫く意志

→すべては「**あきらめない気持ち**」から！
★「**ここに行きたい（進学したい）**」を現実に！

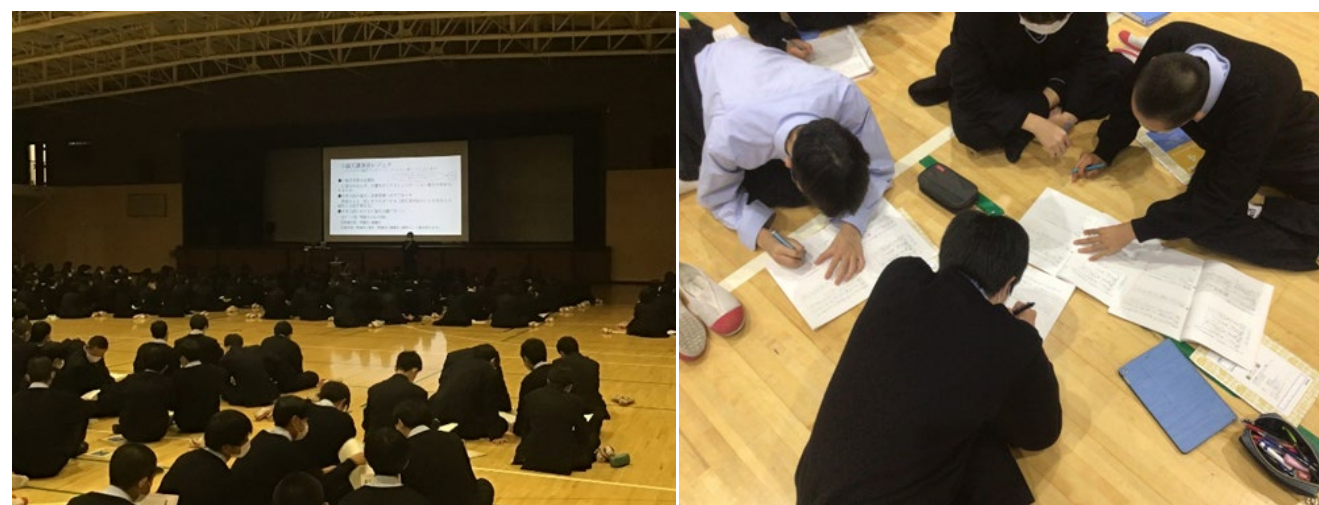
家庭学習 の 習慣化



1年生小論文講座で大学入試への準備！

11月9日（水）に1年生は小論文講座を受講しました。総合型選抜や学校推薦型選抜で多くの大学が出題する小論文に備えるためです。多様な人材を求めるため、学力だけでは測れない才能を見極めるためなど小論文が求められる理由はさまざまありますが、その根底にはコミュニケーション能力をみたいという意図が伺えます。学問の世界やビジネスの世界、社会生活など文書を介するコミュニケーションが要求される場面は多くあります。小論文の勉強を単に大学入試のためだけでなく、将来多方面で役に立つ能力を身につけるためと捉えて取り組んでほしいと思います。

今回の講座では、小論文学習の必要性や小論文の書き方の練習をしました。生徒は復習も兼ねて小論文プレビューノートに取り組み、11月30日（水）に小論文テストを受けました。その後、答えは細かく添削され、1月に返却される予定です。1月に生徒の答案の全体講評をいただき、再度同じ課題で小論文リピーテストを受け、小論文の完成度を高めていきます。



次号予告



次号の鶴進では、「2年小論文テスト」「2年実力養成講座開始」「一般選抜ラストスパート」についてです。